

令和 8 年度 北野高校第 1 回学校運営協議会

1. 日時 令和 8 (2026) 年 7 月 17 日 (金) 14 時 35 分～

2. 場所 校長室

3. 出席者

【委員】

(PTA 副会長)

(京大大学大学院教授)

(六稜同窓会学年理事)

(大阪市立新北野中学校 校長)

【事務局】

(校長)

(教頭)

(事務長)

(首席)

(首席)

(教務部主任)

(進路部主任)

(指導部主任)

(記録)

(記録)

4. 議事

1. 校長挨拶

2. 委員自己紹介

3. 事務局の紹介

4. 協議会会長・副会長の選出

5. 授業参観

京大教授：毎回興味を起こす授業をしておられる。どの授業も皆寝ずに聞いている。工夫されている

PTA 副会長：活気がある授業。生徒たちもすぐに反応してディスカッションをしていた。

新北野中学校長：高校生の 40 人学級にしては教室がとても狭い。スペースを確保するというのも重要。デジタル化が進む中で、人にしかできないことを追求することも大事。対話をとおして最適解を求めるということを、授業では実践しておられた。

同窓会理事：デジタルをうまく使っている。常に生徒の方を向いて授業をされているので、生徒にも入っていきやすい。どの授業もペアやグループでの活動を実践されて

いる。

6. 事務局より今年度の報告

①校長より 令和8年度学校経営計画及び学校評価 ほぼ変更なし

- ・学習時間が目標を達成したが、今年も50%で設定
- ・「教員の超過勤務年間720時間超の教職員を0にする」を追加

②教務部主任より

- ・教科書採択の流れについて 7月7日に第3回調査委員会を開催し、すでに委員会に提出済
- ・令和10年度入試制度変更について、本格化
- ・デジタル採点

③進路部主任より

- ・校内模試は例年通りの分布
- ・2年の校外記述模試は数学の成績が例年に比べてよい
- ・今春の進学者：国公立213名、私立11名、海外3名 65%は進学
京大の合格率は現役33%、既卒は半分ほど
- ・139期3年の京大進学志望者は、現時点で190名（過去最高）

④指導部主任より

- ・1年は緩んできた。出席状況は良好
- ・クラブ加入率…例年どおり100%を超える。兼部をしている生徒は昔よりは減ったかも
- ・六稜祭：今年度は2日開催。外部の人間にも文化活動を見てもらうという趣旨。
- ・体育大会：2年生の「仮装」計画模索中
- ・校則について：「華美にならない」本校生のあり方。制服が変わって「おしゃれに」なったとともに、スカート丈が短すぎることへの注意喚起
- ・SNSトラブル：各学年の指導部、主任、外部講師などにより注意喚起

7. 意見交換

①・全体の勤務状況はどうか（京大教授）

（校長）やればやるほど業務は増えてくる。部活動がさかんであることも一因。業務の軽量化も、個人的には限界が来ているのではないかと

・勤務に対するAIの活用を取り入れてはどうか（京大教授）

（校長）自身が先生方の活用を十分把握できていないというものもある。

・思ってもできないところで、具体的に何か対策はされているか（同窓会理事）

（校長）毎月の勤務時間は把握できる。そのうえで面談等もやっている。減らしていくところは減らしていく。

・業務を減らすにはその元を減らさなければならない。行事の精選、行事の意義を明確

にし、不明確なものは削除してはどうか。(新北野中学校長)

- ・超過勤務に関連する目標設定を計画に入れた意義はある。保護者対応などでも時間をとられているのではないか。先生方の健康が、生徒への利益にもなるかと考える。

(PTA 副会長)

- ・学校の行事含めてさまざまな業務が増えている。合理化の限界。社会的な要請も依然としてある。そのバランスをとっていくべき。(京大教授)
- ・ただ時間を減らせというだけでもよくない。働き甲斐、メンタルヘルスとのバランスをとっていくべき(新北野中学校長)
- ・魅力的な授業をするのに、すごく準備時間がかかっているのでは？それも超過勤務の一因になっている。他校ではどうなのか？(京大教授)

(首席) 学校による。学校によって、どこに時間をかけるかは変わる。

- ・六稜祭、多くの保護者が来校していただいたが、反面、校内の人数が増え、行列ができたり、生徒が会場に入れない等もあった。来年に向けて改善できるところは改善していただき、PTA としても協力していきたい。(PTA 副会長)

閉会の挨拶 教頭